

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第19週)

宮城県【平成25年05月16日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.5.6 ~ 5.12 ・ 第19週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第16週	第17週	第18週	第19週
水痘	12 2.40	14 1.40	11 2.20	18 9.00	3 1.00	4 0.80	4 2.00	31 1.19	97 1.67	1,388	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		2 0.20			2 0.67	2 0.40	3 1.50	6 0.23	15 0.26	435	→	→	→	
百日咳	1 0.20								1 0.02	9	→	→	→	
感染性胃腸炎	31 6.20	83 8.30	29 5.80	25 12.50	16 5.33	45 9.00	18 9.00	287 11.04	534 9.21	7,897	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	1 0.20		2 0.40		6 2.00			3 0.12	12 0.21	171	→	→	→	
伝染性紅斑	3 0.60	1 0.10					1 0.50	3 0.12	8 0.14	169	→	→	→	
突発性発しん	3 0.60	6 0.60	4 0.80	2 1.00	3 1.00	4 0.80	2 1.00	13 0.50	37 0.64	622	○→	○→	レ→	○
ヘルパンギーナ			1 0.20			2 0.40			3 0.05	18	→	→	→	
インフルエンザ	30 3.75	9 0.60	6 6.25	1 0.33	1 0.20	7 0.88	2 0.50	27 0.64	127 1.37	15,325	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱		3 0.30				1 0.20		8 0.31	12 0.21	305	→	→	→	
流行性角結膜炎	1 1.00	1 0.33						1 0.17	3 0.25	45	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24 4.80	12 1.20	10 2.00	2 1.00	5 1.67	32 6.40		30 1.15	115 1.98	2,085	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	4 4.00	5 5.00			1 1.00	2 2.00	1 0.20	14 1.17	368	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20							2 0.08	3 0.05	216	→	→	→	
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	6	3	3				7			：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/kansen-center/</a>			
	不明発疹症							3						

## 今週の全数報告疾病

- \*男児、女児は6歳未満
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
  - 塩釜管内 女性1名
  - 大崎管内 女性1名
  - 仙台管内 女性2名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: ウイルス性肝炎
  - 仙台管内 女性1名
  - 後天性免疫不全症候群
    - 仙台管内 男性1名(第17週)
  - 侵襲性肺炎球菌感染症
    - 仙台管内 女性1名
  - 風しん
    - 栗原管内 男性1名(第17週、臨床診断例)
    - 仙台管内 男性4名(検査診断例)、男性1名(臨床診断例)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 今週の感染症のコメント - 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

### 【水痘】

栗原管内で警報値を超えた。  
複数の保健所管内で患者数の上昇傾向がみられることから注意が必要である。

### 【風しん】

全国的な傾向と同様に、20歳代～40歳代の男性の報告例が多い。今後もさらに流行の拡大が懸念されるので注意が必要である。  
※第17週で'妊婦の感染例もある'と記載したが、その後の調査結果により妊娠していない事が判明しました。

### 【病原体検出情報】

#### ～保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より  
塩釜管内 第18週採取分 ノロウイルス(GII) 1件

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

第17週採取分 第18週採取分 第19週採取分  
宮城県:51定点 (4.22～4.28) (4.29～5.5) (5.6～5.12)  
仙台市:42定点  
合 計:93定点  
RSウイルス 3件 0件 2件  
アデノウイルス 2件 3件 2件  
サトウカボチャウイルス 0件 1件 0件

### インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群											総数(人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第14週	25.2	24.5	8.8	3.8	3.8	15.1	8.2	3.8	3.1	1.9	1.9	159
第15週	26.8	24.1	9.8	3.6	6.3	6.3	6.3	4.5	2.7	1.8	8.0	112
第16週	11.6	25.9	30.2	9.5	2.1	3.2	6.3	4.8	2.1	2.6	1.6	189
第17週	23.5	30.9	22.6	5.1	1.4	3.7	4.6	3.7	0.5	2.3	1.8	217
第18週	27.7	29.5	20.5	5.4	4.5	7.1	0.9	0.9	0.9	0.0	2.7	112
第19週	18.9	24.4	27.6	3.1	3.9	8.7	4.7	2.4	1.6	3.1	1.6	127

### 定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第16週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮城県(7.64)、石川県(7.58)、山口県(7.13)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は549例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約83%を占めている。**咽頭結膜熱:** 報告数は2週連続で増加した。宮城県(1.25)、佐賀県(0.83)、山形県(0.77)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 報告数は2週連続で増加した。石川県(5.10)、富山県(4.24)、新潟県(4.00)が多い。**感染性胃腸炎:** 報告数は2週連続で増加した。大分県(17.22)、島根県(14.00)、新潟県(13.67)が多い。**水痘:** 報告数は3週連続で減少した。熊本県(2.36)、愛媛県(2.30)、山口県(2.06)、宮城県(2.06)が多い。**手足口病:** 報告数は3週連続で増加した。沖縄県(4.65)、島根県(3.61)、福岡県(2.17)が多い。**伝染性紅斑:** 報告数は3週連続で増加した。富山県(1.00)、新潟県(0.47)、岩手県(0.38)が多い。**百日咳:** 報告数は減少した。高知県(0.10)、沖縄県(0.06)、鳥取県(0.05)が多い。**ヘルパンギーナ:** 報告数は減少した。佐賀県(0.65)、長崎県(0.45)、沖縄県(0.24)が多い。**流行性耳下腺炎:** 報告数は増加した。秋田県(1.20)、福井県(1.05)、岩手県(1.00)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 報告数は2週連続で増加した。石川県(2.40)、福島県(2.00)、沖縄県(1.86)が多い。

### インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。  
宮城県:51定点  
仙台市:42定点  
合 計:93定点